

# 目 次

## . 総括研究報告

- 科学的根拠に基づくウイルス性肝炎診療ガイドラインの構築に関する研究……………1  
熊田 博光

## . 共同研究報告書

1. B型慢性肝炎核酸アナログ治療例からの肝発がんリスク因子の検討……………27  
松本 晶博
2. Telaprevir/PegIFN/RBV 併用療法における不適格基準についての検討……………30  
川上 由育

## . 分担研究報告

1. 肝線維化進展度評価における RTE ( Real-time Tissue Elastography ) ……………39  
清家 正隆
2. C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療による肝硬度の変化についての検討……………41  
吉岡健太郎
3. PNPLA3 遺伝子多型と C 型肝炎の病態についての検討……………45  
黒崎 雅之
4. テラプレビルによる脂質代謝への影響……………47  
中牟田 誠
5. C型肝炎の治療法に関わる遺伝子変異の検討……………49  
坂本 穰
6. C型慢性肝炎の抗ウイルス治療効果と KIR、HLA、IL28B 遺伝子多型の関連……………54  
松本 晶博
7. C型肝炎に対する TVR/Peg-IFN/RBV 療法における TVR 減量投与の  
有用性について……………56  
竹原 徹郎
8. Telaprevir 三剤併用療法における PEG/RBV 延長投与の有用性……………60  
豊田 成司
9. 高齢線維化進展 C 型肝炎に対する PEG-IFN/RBV/TVR の効果……………64  
岡上 武
10. HBe 抗体陽性非活動性キャリアおよび核酸アナログ投与例の HBV 関連マーカー  
とジェノタイプの関連……………66  
上野 義之
11. アデホビルによる腎・尿管障害の実態……………69  
四柳 宏

12. B型慢性肝炎に対するペグインターフェロン 2a の長期治療成績……………74

鈴木 文孝

. 研究成果の刊行に関する一覧表……………77